

社協だより

平成25年1月

第32号



草津町社会福祉協議会

草津町大字草津464番地28 TEL : 0279-88-1050

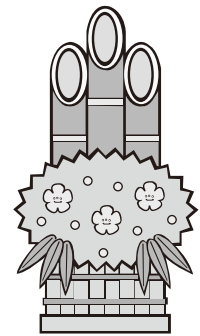
祝

草津町地域子育て支援拠点事業 開設



10月2日に草津町総合保健福祉センターに併設されているいきいきプラザ草津において、『草津町地域子育て支援拠点事業』がスタートしました。

新年明けましておめでとうございます



町民の皆様におかれましては、新年を迎え益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、当社会福祉協議会に對しまして、多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

今年は大震災から3年目を迎えようとしていますが、未だ被災者の多くの方々には苦難の中の生活を余儀なくされ、特に生活弱者と言われる乳幼児、高齢者、障がい者の皆さんのご苦勞は計り知れず、避難所生活や家族離ればなれの状況の中、今でも辛い思いをしていると思われる、どうか一日でも早く以前の平穩な日々が取り戻せるよう心からお祈り申し上げます。

さて、昨年の社協を振り返りますと新規事業として町より業務委託を受けました「子育てひろば すくすく」を10月より開設致しました。子育てをする若いお母さんたちと「いきいきサロン」の元氣な、高齢者との世代間を越えた交流を図り、お互いの知識と経験を生かせる交流の場として、今後発展させていければと考えております。

これから、赤ちゃんから高齢者まで、町民の皆さまに愛される社会福祉施設を目指し努力していく所存です。町民の皆様におかれましては、当社会福祉協議会に對しまして、今後ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

草津町社会福祉協議会

会長 中澤 則之

地域子育て支援拠点事業

草津町社会福祉協議会では、草津町からの委託を受け、10月より「地域子育て支援拠点事業」として「子育てひろば すくすく」を開設しました。

子育て家庭の応援団として、就園前の乳幼児（0～3歳児中心）とその保護者、マタニティの方（妊娠中のお母さん）が楽しく集える、友達作りの場、遊びの場、子育ての相談、語らい学べる場を提供いたします。また、「いきいきプラザ草津」では平成13年より自立高齢者サロンを月・水・金に開設しており、午後の一部の時間は子育てひろばとの世代間交流の複合型サロンとしてご利用いただけます。

開館日時 毎週 (月)(水)(金) 12:00～17:00

毎週 (火)(木) 10:00～16:00 (土・日・祝日は休館)

場所 いきいきプラザ草津（草津町総合保健福祉センター別棟）

利用方法 事前の申込みは不要です。開設時間内にご自由にご利用ください。

プログラム 手遊び、紙しばい、季節の制作、ママカフェ、ママヨガ・・・
(毎月の予定を、回覧板やホームページでお知らせします)

設備 キッズサークル、遊具、絵本、お昼寝コーナー、授乳コーナー、給茶器等々

講習会 毎月楽しい講習会などを予定しています。

スタッフ 常勤職員、子育てサポーター、ボランティア



昨年に引き続いて、草津町公園墓地忠霊塔において戦没者追悼式を無宗教の献花方式により行いました。参列者全員で献花し、草津町出身の117柱の英霊のご冥福と恒久平和を祈念いたしました。

戦没者追悼式で朗読をした戦没者の遺書を掲載させていただきます

遺書
陸軍大尉 植村眞久（うえむら まさひさ） 東京都出身 25歳
神風特別攻撃隊大和隊 昭和19年10月26日フィリピン海域にて戦死

わが娘素子へ

素子、素子は私の顔をよく見て笑いましたよ。

私の腕の中で眠りもしたし、またお風呂に入ったこともあり、また素子が大きくなって私の事が知りたいときは、お前のお母さんが佳代子叔母様に私のことをよくお聴きなさい。私の写真帳もお前のために家に残してあります。素子という名は私がつけたのです。

素直な、心のやさしい、思いやりの深い人になるように、とお父様が考えたのです。私はお前が大きくなって、立派な花嫁さんになって、幸せになったのを見届けたいのですが、もしお前が見知らぬまま死んでしまっても決して悲しんではなりません。

お前が大きくなって、父に会いたいときは九段へいらつやい。そして心に深く念ずれば、必ずお父様のお顔がお前の心の中に浮かびますよ。父はお前を幸せ者と思えます。生まれながらにして父に生き写しだし、他の人々も素子ちゃんを見ると眞久さんに会っているような気がする。とよく申されていた。またお前のおじい様、おば様は、お前を唯一の希望にしてお前を可愛がって下さるし、お母さんもまた、自分の全生涯をかけて只々素子の幸福をのみ念じて生き抜いて下さるのです。必ず私に万一の事あるも親なし子などと思つてはなりません。父は常に素子の身辺を守っており、先に云った如く素直な、他人に可愛がられるやさしい人になって下さい。最後にお前が大きくなって私の事を考え始めた時に、この便りを読んで貰いなさい。

父より

追伸 素子が生まれた時おもちやにしていた人形はお父様が戴いて自分の飛行機にお守り様として乗せております。だから素子はお父様といつも一緒にいたわけです。素子が知らずにいると困りますから教えてあげます。出撃以前、妻の懐妊中に植村大尉がしたためていた遺書には「自分の戦死後に生まれてくる子が男児であるなら自分と同じ眞久と、女児であるなら素子と命名してほしい」とあった。幸い出撃前に女児が生まれ、大尉はわが子に対面し自身によって素子と命名した。

陸軍軍属 大嶺 美枝 沖縄県立第二高女4年 17歳
白梅部隊 昭和20年6月9日 沖縄高嶺村にて戦死

お母様

いよいよ私達女性も、学徒看護隊として出勤できます。とを、心から喜んでおります。お母様も喜んで下さい。・お母様は女の子を手離して、ご心配なさる事でございましょうけど、決して御心配なさいませぬ。・散る時には、立派な桜化となって散って行きます。

その時は、家の子は「偉かった」とほめて下さいね。

お母様、空襲時はよくご用心下さいね。そして善ちゃんとお母様を良く守って下さいませ。決して私の心配はなさいませぬ様にして下さい。ネルはお母様のものか、善ちゃんのものを作って着せて下さい。波の上宮のお守りを入れておきますから、善ちゃんの出動の際には、お母様の髪の毛と共に、弘ちゃんにお守り袋を作ってもらって善ちゃんに渡して下さい。

なるべく自分でやる心づもりでしたけど到底忙しくて出来ませんから、弘ちゃんに作ってもらいます。

お母様！今まで口答ばかりしてきて済みませんでした。これからは、きつと立派な一人前の看護婦になって、お国の為に働きます。

お母様！お体を無理なさらぬように、又善ちゃん弘ちゃんを怒らずに、朗らかに暮らして下さい。

大島兵曹、信一兄さんによろしくおっしゃってくださいませ。最後に一家のご健康をお祈りいたします。

かしこ

美枝

※米軍の上陸を受け、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高女の生徒らで構成された「ひめゆり学徒隊」、同第二高女の「白梅学徒隊」など沖縄の女生徒たちは速成の看護婦教育の後、軍属として野戦病院に配属された。苛烈（かれつ）な戦場勤務の果て学徒隊は解散を命じられたが、その多くは祖国防衛の最前線に散って行った。

敬老祝い事業

平成24年9月12日(水) 町内全域

年寿者（88・99歳）及び85歳以上の高齢者の皆さんに、御協力をお願いいたしました民生委員及び社協役員でお祝いの品等をお届けいたしました。おめでとうございます。いつまでもお元気でお過ごしください。



草津町やすらぎ福祉大会

平成24年10月11日(木)

草津白根観光ホテル櫻井



第1部式典では、金婚者表彰が行われ、ミヤマ写真館様よりご厚意で記念写真の撮影がありました。また、社会福祉に功績のあった方々に表彰及び感謝状の伝達が行われ、続いて末広屋ふとん店様よりご寄付いただいた座布団が高齢者に贈呈されました。（自宅へお届け）第2部では、「認知症の人と家族の会」世話人島村まつ代さんに認知症についての講話をいただきました。

認知症になった方の思いを歌にした曲が流れ、皆さん胸を打たれていました。

歳末たすけあい運動

平成24年12月1日～31日

（歳末慰問事業）

運動期間中、皆様からいただいた温かいお気持ちは、歳末慰問として、民生委員さんのご協力もいただき、町内一人暮らし高齢者や施設に入所されている方に、慰問金品をお届けする事業に使わせていただきました。新しい年が皆さまにとりまして良い年でありますよう。



群馬県社会福祉大会

平成24年11月21日(水)
前橋市民文化会館

群馬県社会福祉協議会会長表彰

「民生委員・児童委員勤続表彰」

- ・ 竹淵京子（民生委員）

「社会福祉協議会役職員功労者表彰」

- ・ 大場 均（草津町社会福祉協議会・理事）
- ・ 糊澤正己（草津町社会福祉協議会・評議員）
- ・ 宮島展代（草津町社会福祉協議会・職員）

「団体役職員功労者表彰」

- ・ 大内敏光（身体障害者の会）
- ・ 湯本広雄（老人クラブ）

（敬称略）

おめでとうございます。長年の功績を讃えとともに、今後ますますご活躍されることをお祈りいたします。

身体障害者の会

町内バリアフリー点検

平成24年11月15日(木)

役場から楽泉園通り～大滝乃湯までの間を、役場及び警察の皆さんのご協力をいただき実施しました。

歩道と側溝の段差や歩道への看板のせり出し等の危険な箇所、また、点字ブロックの必要箇所を確認できました。



老人クラブ連合会

女性会員による友愛訪問活動のための雑巾作り風景です。多くの会員が一針ひとはり縫い上げた雑巾を郡内及び町内の関係機関にお届けいたしました。

◆◆ 草津町手をつなぐ育成会 ◆◆

平成24年11月16日(金)

太田市にある障害者福祉サービス事業所「エコネット おおた」と明和町の障害者を雇用している「(株)アドバンテストグリーン」へ視察研修に行ってきました。

明和町では、特別支援学校を卒業し働いている二人の方から説明を受けました。

「社会人として大切なことは、きちんと挨拶することです」と笑顔で話してくれたことがとても印象的でした。



「母子・寡婦会ふれあい事業」

平成24年12月10日(月)

(財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会助成事業)

母子4組寡婦8名 ホテル桜井で開催され親子での楽しい一時を過ごされました。

お母さんも日頃の忙しさから解放され、お子さんの笑顔にほっと一息。

◇新規会員募集中です。父子家庭の参加もお待ちしております。

ご連絡は社会福祉協議会までお願いします。



賛助会費をお願いしています

今年も
よろしく
お願いします。

わたしたちの住む草津町の地域福祉を推進していくため、たくさんの方々の支援が必要です。

この趣旨をご理解の上、ご加入くださいますようお願い申し上げます。

賛助会費	—□	3,000円です
特別会費	—□	10,000円です

※ご連絡いただければお伺いいたします。
☎88-1050 草津町社会福祉協議会

いきいきプラザ利用者募集

自立高齢者のデイサービスとして、閉じこもり防止や認知症予防対策を図り、高齢者が要介護状態にならないよう、レクリエーションやもの作りを通して楽しく交流し、くつろいでいただくためのところです。

月・水・金の週3日（午前9時30分～午後3時30分）、利用料は1日600円（給食費・光熱費など）です。

対象者は草津町在住で介護保険制度において自立と判定された方やお元気な65歳以上の方です。一日体験もできますので、お気軽にお出かけください。

草津町社会福祉協議会 行事予定

1月	・小学生福祉講座（4年生）	4月	・草津町老人クラブ連合会総会
2月	(老人クラブ) ・吾妻郡老連芸能発表大会及び作品展 23日(土) 中之条町文化会館 ・小学校昔遊び講座（1年生）	5月	・理事会・評議員会 ・老人クラブ50周年式典 ・草津町身体障害者の会総会 ・草津町盲人会総会
3月	・理事会・評議員会	6月	・手をつなぐ育成会総会 ・老人クラブ研修旅行

公財) 車両競技公益資金記念財団助成事業

公財) 車両競技公益資金記念財団助成事業で「草津町ボランティアサークルやすらぎの会」が車イス4台を購入しました。

「やすらぎの会」は町内の身体障害者団体へのボランティア活動を行っています。

今回上記財団の助成事業を申請し車イスを購入することができました。(運搬に便利な携帯用車イスもあります)

車イスは総合保健福祉センターに設置されます。町内外問わず、高齢者・障がい者の方に貸出します。ご利用になりたい方はセンターまで。

お問い合わせ先 電話 88-1050 総合保健福祉センター内草津町社会福祉協議会



エコキャップ通信

今回受領個数 176,558個

累計個数 1,252,478個

ワクチン 1,550.2人分

受取日	数量	個数(約)
2012/11/19	278kg	119,540個
2012/09/05	132.6kg	57,018個
合 計		176,558個

(町民、小学生に回収していただいた数です)

1kgを430個として計算しています。860個でポリオワクチン1人分が購入できます。

1kg(430個)焼却されると3.15kgのCO2が発生します。

飲料メーカー各社の環境配慮によりエコキャップの重量が1個約2.5gから約2.3gに軽量化されたので、2012年9月1日より重量と数の関係を1kg=400個から430個に変更しました。

平成19年12月～24年7月 **計89,603,902円**

JCV(NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会)へ寄附致しました。

平成23年5月～23年9月 **計40,000,000円**

宮城県、岩手県、福島県、茨城県へ各1,000万円を義援金として寄附致しました。

ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

(NPO法人エコキャップ推進協会報告より)

公財) 日本社会福祉弘済会助成事業で 次のような事業がおこなわれました

平成24年7月25日 午前・午後

「介護技術スキルアップ講座」開催

杏林大学の理学療法学科講師を招き午前中は事業所職員を対象とし、スキルアップ講座を実施しました。高齢者にも参加していただき講師より認知予防、転倒予防体操等を学び高齢者の運動機能向上に役立てるよう教授いただきました。

午後には町内事業所職員が直接講師より介護技術を学び、日頃忙しくまた遠方まで研修に参加できない職員が真剣に聞き入っていました。



午前の部



午後の部

平成24年10月3日・10日

「認知症高齢者の傾聴講座」2日間計8時間

町民、ボランティア、民生児童委員、日常生活自立支援員、施設職員など多種にわたる申込がありました。講師は傾聴活動の草分け的存在のNPO法人ホールファミリーケア協会にお願いし、ロールプレイ実習を中心として講座は進行。初心者には難しい内容もありましたが2日間30名の受講修了者があり、必要性の高い傾聴講座を実施することができました。

また参加者より今後もこのような講座を定期的の実施してほしいとのご意見が多数ありました。

